

平成23年度・第2回小平市立学校給食共同調理場運営委員会議事要録

開催日 平成23年11月8日(火) 午後3時30分～午後4時35分

会場 小平市立学校給食センター会議室

出欠席 出席者12名 欠席者1名 事務局2名

傍聴者 なし

次第 議題

1 委員長 挨拶

2 議題

(1) 協議事項なし

(2) 報告事項

① 平成24・25年度中学校給食用食材納入業者の募集について

(3) その他

議 事 要 録

所長

只今から、第2回小平市立学校給食共同調理場運営委員会を開催いたします。

最初に、委員長からご挨拶をいただきたいと思います。委員長、よろしくお願ひいたします。

委員長

皆様、こんにちは。本日の委員会は特に協議事項はありませんが、報告事項として、給食用食材納入業者の募集についての報告がございます。その他の所でございますが、放射能のことが取りだされていますが、小平市のホームページにも給食用食材の産地が公表されています。食材の産地についての説明を予定しています。また、委員の皆様から協議してみたい事項がございましたら、ご提案いただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

所長

委員長、ご挨拶ありがとうございました。

それでは、委員会の進行を委員長にお願ひしたいと思います。

委員長

協議事項は無いということなので、報告事項にいきたいと思います。「平成24・25年度中学校給食用食材納入業者の募集について」説明をお願いします。

所長

平成24・25年度中学校給食用食材納入業者の募集につきまして、お手元の資料1に添いまして説明をさせていただきます。

現在、平成22・23年度の食材納入業者の登録がありますが、平成24年3月末日で登録の期間が満了いたしますので、「小平市中学校給食用物資調達事務処理要領」により、2年に1度給食用食材の納入を希望する業者を募集し、小平市立学校給食共同調理場運営委員会で、納入業者の立地条件、衛生状況、供給能力等を審査し、指定することになっております。

今年度中に、平成24・25年度中学校給食用食材納入業者を決定する必要がありますので、次のような日程を進めてまいります。市報こだいらの12月20日号へ募集記事を掲載し、ホームページにも掲載します。12月21日から「登録申請書」等を配布し、平成24年1月10日から25日まで申請書を受け付けます。新規に納入を希望する業者につきましては、立地条件、衛生状況、供給能力等を学校給食センターが事前に現地調査を実施します。平成24年2月に予定しております、共同調理場運営委員会で審査をいただいて決定する運びとなります。決定業者とは3月に契約を締結することとなります。

魚や肉類等生鮮食品を扱う業者につきましては、所轄の保健所の発行する衛生監視票の添付を義務づけています。また、「小平市中学校給食用物資調達事務処理要領」により、食材納入業者には、腸内細菌検査書の写しの提出など様々な衛生管理に関することを求めています。

以上で、平成24・25年度中学校給食用食材納入業者の募集につきましての説明でございます。よろしく願いいたします。

委員長

平成24・25年度中学校給食用食材納入業者の決定は次回の運営委員会になりますが、今回は募集をするということにつきまして、ご質問等ございますか。

委員

例年、納入業者は入れ替わり等ありますか。

所長

2年に1度の募集になりますが、前回は、豆腐の納入業者とこんにゃくの納入業者他1業者の3件が登録を辞退しています。新規の登録は市内の魚屋さん1件と調味料や乾物を扱う業者1件でございました。現在、豆腐屋さんが1件だけになっていますので、増えれば良いと思っています。

委員長

その他、ご質問ございますか。

委員

地域活性化の観点から言えば、市内の業者の方が多く入るのは良いことだと思いますので、学校給食の食材納入に協力してもらえるよう発信してはどうか。例えば、地域の豆腐屋さんの豆腐を給食に使っていますというのが良い教育になるのではないのでしょうか。

所長

豆腐に関して申し上げますと、今現在は1件の豆腐店が国産大豆を使用し安価で納入していただいています。次回の登録は小平市豆腐組合として登録を考えているようです。また、市内の小中学校では、それぞれの地域のお豆腐屋さんから納入していただいていると思います。

委員長

他に、ご質問等ございますか。ないようですから、「その他」の給食用食材の産地について、学校給食センターから説明等をお願いしたいと思います。

所長

3月11日の大震災の影響で計画停電があり、その後、放射能が問題となっており、給食を取り巻く環境は厳しいものがあります。小平市では、小学校・中学校で9月から使用予定の食材の産地を、小平市のホームページで公開しています。中学校につきましては、学校給食センターのホームページでも公開しています。お手元の資料は実際に公開しているものです。

学校給食センターでは、毎月10日前後に翌月分の食材の入札を行い、納入業者に食材の予定産地を記入していただいています。この入札時の予定産地を基に公開しているものです。資料の備考欄ですが、食品毎に各都道府県が放射能を測定した直近の結果を参考として載せてあります。11月の予定産地で目につくのが牛乳だと思えます。東毛酪農業協同組合の行っている自主検査の結果、9月末の時点で放射性ヨウ素は検出されず、セシウム134が0.4ベクレル/kg、セシウム137が1.1ベクレル/kgが検出され、10月14日の自主検査では、放射性ヨウ素、セシウム137は検出されず、セシウム134が2ベクレル/kg検出されました。この数値は、東毛酪農業協同組合のホームページでも公開されていますので、そのまま公開したものです。

8月までは3月以前の牧草と輸入飼料を牛に与えていたことから、検出されなかったものと思われれます。9月になって検出された原因として考えられるのは、3月以前の牧草がなくなり、震災後、牧草地でセシウムが検出され、その牧草を牛に与えないよう禁止されていましたが、規制が解除された牧草と輸入飼料を与え始めたことではないかと考えられます。いずれにいたしましても、食品衛生法の暫定規準値を大幅に下回っていることから、今まで通り牛乳を提

供していくこととしています。

本日のテレビ等で報道されていましたが、東京都では11月8日から小売店に流通している食品について、日常的に摂取する食品や子供が継続的に摂取する食品を中心にモニタリング検査をし、結果をホームページで公開するそうです。給食用食材ではございませんが、非常に参考になる検査だと思っております。

委員

来年3月末までに500品目とのことですが。

所長

放射能検査に対する小平市の方向性ですが、何品目になるか分かりませんが月に1度程度、放射能検査を実施すべく検討しております。また、牛乳の問題でございますが、給食は皆で同じ物を楽しく食べ、いろいろな事を学んでいくのが本来の給食と思いますが、放射性物質が少しでも検出された場合は飲むことを控えたいという方については、個人の見解にお任せするのも仕方がないと思っております。機会をみて保護者の方には、お知らせしようと考えております。

委員長

只今、産地についての説明がありましたが、ご質問、ご意見等ございますか。

委員

米や牛乳は指定したものが納入されていますが、他の食品は献立作成後、必要な品物を仕入れると思いますが、その段階で産地の指定はせずに、納入業者が手配して産地を決めてくるということでしょうか。

所長

献立に沿って必要な食品を見積もりで決めて行きますが、その際、産地の指定はしておりません。産地を指定いたしますと風評被害になることもありますので指定はしておりません。納入業者も産地については気にされているようです。また、あくまでも予定産地のため、予定産地ではない品物が入った場合は、ホームページ等で放射能情報を確認してから使用しています。

委員長

その他、ご質問等ございますか。

委員

放射性のものは摂らない方が良くと思いますが、人体にどの位影響があるのかとか、ただ含まれているというだけで怖いなと思いますが、暫定基準値を大幅に下回っていることで摂り続けて大丈夫な値なのか、全く摂らずに生活できれば一番良いのでしょうかが無理だと思います。保護者としてどのような基準で見れば良いのか、安易に過敏に反応してだめだだめだでは無理だと思います。

す。基本的な知識のない人もいますので、牛乳を飲む、飲まないを選択して行くのは良いと思いますが、逆に、保護者の中には大丈夫と思っている方もいると思いますので、過剰に反応してはいけないと思っています。全員が違う産地のものを入れて欲しいと言っているわけではないと思います。復興支援もしなくてはならないと思いますので、安心できるような情報が欲しいと思います。

所長

実はその情報が一番難しいです。現在は、国の暫定基準値が基本になります。

委員

選択できるのが良い方法だとは思いますが。

委員

資料に米の暫定基準値が書いてありますが、この暫定基準値を超えるものは産地の検査で、基本的には市場に出てこないと思います。何らかの関係で産地から出回ることを危惧して、東京都でも検査をすることになっています。理解を得られるかは別として、考え方として暫定基準値を下回っているものは、過敏にならなくても良いと考えていただきたいと思います。例えば、お茶を抽出した液の方には放射性物質が出ないという結果もあり、単純には結果を見られないとは思いますが、基準値は基準値としてありますので安心していただければと思います。

委員長

その他、ご質問等ございますか。

委員

野菜は良く洗うとか、茹でると良い等聞きますが、放射能の関係で調理方法を変えたことはありますか。

所長

給食の調理は洗うのが原則で、野菜は最低3回で4～5回ということもあります。生で出しているものは、りんごやみかん等の果実類です。それ以外はサラダ等も全てボイルしています。特に調理法を変えてはいませんが、給食の調理法が合っているのかと思います。

委員長

その他、ご質問等ございますか。この件はよろしいでしょうか。

それでは、委員の皆様が全般的な事で話し合ってみたい事がございましたら、お願いいたします。

委員

3年間言い続けてまいりました、残菜と箸の問題についてのその後はいかがでしょうか。

所長

箸の件ですが、平成24年度予算の要望時期となりましたので、再度、箸をつけるよう予算要望をしております。

残菜の件でございますが、9月頃は暑いせいか残菜が多かったです。その後、気候が安定したせいか残菜が減ってまいりました。やはり、1日平均で500kg弱の残菜が出ているのが現状です。前年よりやや減る傾向にありますが、今のところ現状維持という状況だと思います。

委員

残菜のことですが、生徒は体を作らなければいけない時期に、給食をお代りするのが恥ずかしいというような感じもあると思いますので、皆がもう一口食べるような努力を続ければ、残菜は減少すると思います。小平第四中学校では、保健給食委員会でポスターを作成したり、ある先生は、盛り残しの給食を皿に取り分け各班に配食すると、抵抗なくお代りしたりできているようです。このような取組が残菜を減らすことになるとと思います。教育の一環として食育が叫ばれる中、食物を大切にすることで、校長会や先生方の集まり等がある時、食に対して何か、一つ決めごとをしていただくと、もう1歩前に進めるかと思えます。

所長

残菜は箸にも関係するのではないかと思います。箸を持参するようお願いしていますが、スプーンかフォークいずれかが付きますので、箸が無くても食べられますので、ほとんどの生徒が持参していない状況です。箸があれば、魚等が食べやすくなるので、もう少し残菜が減るのではないかと思います。予算要望の時には、この点もアピールしていきたいと思っています。

委員長

先生方は、給食の様子を見ていて箸についてどうですか。

委員

魚の件に関して、食べない生徒に聞くと、めんどくさいと言う生徒もいますので、箸があれば食べるかもしれません。

委員

小平市以外で、箸を出していない市等あるのですか。

所長

現在、箸を持参するようお願いしているのは、小平市だけだと思います。

予算の優先順位を考えますと、給食を作るための老朽化した調理設備の更新が、先にならざるを得ないことになってしまっているのが現状としてあります。

委員長

箸の洗浄機の値段が高いので箸の導入が難しいのでは。

所長

箸の洗浄機のメーカーが関西方面のため、修繕等が必要な場合は時間も掛かることも考えられますので、手洗いすることにしました。洗った後の乾燥、消毒をする保管庫が必要になります。予算的には、箸と必要な設備で1,000万円程度になると思います。

委員

中学生位になると箸を持たせても、皆が使わないからと使わない。箸を使おうと言うのではなくスプーンで上手に食べていますでは、箸で食べる環境が成立しにくいと思います。箸で食べることは日本人の伝統であり、食育の基本でもあると思います。

所長

学校給食センターでは、以前、割り箸を出していました。出すことを止めた理由は、平成元年の中学校生徒意見発表会で小平第一中学校の生徒が、自然破壊につながる割り箸を止め、箸を持参しましょうという発表があり、割り箸は間伐材を使用しているのもので自然破壊ではないとの理由から、小平第二中学校を除き箸を持参することになりました。平成17年頃から、小平第二中学校も持参箸になった経過があります。しかしながら、フォークかスプーンが付きますので食べることに不自由はなく、箸を持参していない状況です。

学務課長

中学生の意見により持参箸とした経過があり、予算担当課も箸の購入に消極的である。今後は、箸の効果について視点を変えて要望していきたい。

委員

薬剤師会で学期毎に、食器等の衛生検査をしていますが、食器に細かい傷があり汚れの原因になっています。細かな傷は、スプーンやフォークでつくものと思われれます。箸にした方が傷や汚れは減ると思います。

委員長

スプーンはスープやカレーライスの時くらいで、ほとんど箸で良いと思います。

委員

給食費未納の問題も気になりますが。

所長

給食費未納の件ですが、平成22年度の未納額は53件で187万円でした。件数的には少ないようですが、市内8中学校の未納額の合計が187万円とかかなりの額になっています。2月から4月にかけて各学校の先生方が、督促等をしていただいた結果、187万円に抑えられたということになります。この未納金は学校給食センターで引継ぎ、5年間督促等続け、未納を少しでも減ら

す努力をしています。

委員長

その他、ございますか。

委員

専門の先生方から、学校給食についてお話いただければと思います。

委員長

歯科医師会の委員の方いかがですか。

委員

先程のお話ですと、お弁当を持ってくると箸を持ってくると言うことですが、やはり、箸だけを持ってくるとするのは難しいのでしょうか。

委員長

弁当ですと、箸を持ってこないと食べられません、給食ですと箸が無くても食べられるという意識の軽さがあるのだと思います。

委員

箸を導入すれば、フォークやスプーンと違い食器の傷などが付きにくく、食器の買い替え時期が1年でも延びれば、予算の削減につながると思います。

衛生上の観点からも導入をお勧めします。

委員長

保健所の委員の方、何かございますか。一般的な事でも結構です。

委員

保健所の立場で申し上げますと、これからノロウイルスが多く発生する時期になります。ノロウイルスはインフルエンザと同じようにウイルスなので、人から人への感染も多く、学校給食で発生すると感染症なのか食中毒なのかわからないことがあります。調理従事者はおおむね気をつけていて、体調が良くない時には調理に従事しないよう徹底されていると思います。例えば、保育園に通うお子さんがおう吐等をして、迎えに行ったお母さんに感染してしまい、それを介して学校へ持ち込まれることもありますので、おう吐症状があった場合、適切な処理と手洗いを入念にお願いします。

手洗い等、いつも以上に意識していただきたい季節かと思います。

委員

保育園ではノロウイルスの対策として、おう吐物の処理方法が細かく決められています。問題は、家庭に帰ったあとのことだと思います。

委員

家庭では子供の状況から親に感染してしまうこともあります。不可抗力の場合もありますが、極力、意識していただきたいと思いますが、あまり神経質になる必要はありませんが、手洗いだけは徹底していただきたいと思います。

委員

家族で努めて手洗いを励行した方が良いですね。

委員

おう吐した場合2m位の範囲で飛散しますが、狭い範囲を消毒しがちなのでとにかく手洗いの励行が必要です。小平保健所では、手洗いの調査をしています。1,000人位調査をしています。手を洗った時にどこが汚れているかと言いますと、意外と親指や中指の先等に汚れが残っています。普通の洗い方ではなくて入念に洗っていただければと思います。手洗いをしない人はいないと思いますので、気をつけて洗っていただきたいと思います。

委員長

その他、ご意見ご質問等ございますか。

ないようですから、最後に、学務課長お願いします。

学務課長

本日は、いろいろなご意見をいただきありがとうございます。箸の件につきましては、今まで考えていなかったような視点からのご意見をいただきましたので、箸をつけるよう努力したいと思います。

放射能の事も委員の皆様が気になっていると思います。先程お話したとおり小平市も9月から食材の予定産地の公表を始めました。10月からは各都道府県で公表している測定結果も参考に載せています。このような事から放射能に対する保護者の方からの問い合わせが減ってきています。今回、牛乳について東毛酪農業協同組合の自主検査の数値を載せましたが、この数値につきましては、群馬県では牧草にセシウムが出たことから、測定の下限値を低く設定して真剣に取り組んでいます。また、東毛酪農業協同組合でも自主検査をしており、安全な牛乳を提供しようという姿勢が感じられますので信頼できる業者と思っています。暫定基準値を大幅に下回っていますので小平市では使用しています。これについて、子どもを放射能から守ることを考えている方から、冷静な対応で良いのではないかとの意見と、ホームページを見られない方もいらっしゃいますので、広く知らせる方法を考えるのはどの意見もありますので、近々、文書等でお知らせすることを考えています。

小平市の放射能自主検査のことですが、現在、毎月、何品目かずつ測定していくことで最終調整をしているところですのでよろしく願いいたします。

本日は、ありがとうございました。

委員長

平成23年度第2回小平市立学校給食共同調理場運営委員会を終了いたします。ご協力ありがとうございました。